

SUPPORTING ORGANIZATIONS

支援機関紹介

ジェトロ三重

バイオコンバレーやメディコンバレー、中国との交流、日独再生医療カンファレンスなど、メディカルバレーの海外連携事業に協力いただいているのがジェトロ三重（独）日本貿易振興機構 三重貿易情報センターです。

県内唯一の公的な国際ビジネス支援機関

ジェトロは、日本企業の貿易・投資の支援を目的に活動する機関です。海外55ヶ国、73事務所の事務所ネットワークを強みに、現在は外国企業の対日投資誘致と日本企業の輸出に力点を置いた支援を行っています。ジェトロ三重は、県内唯一の公的な国際ビジネス支援機関として県内企業・自治体の海外事業展開を支援

しています。ジェトロ認定貿易アドバイザーが貿易やマーケティングの相談に乗るほか、福祉用具や医療機器関連のアドバイザーも活用できます。そのほか、今後はハイテク分野の国際的企業連携支援にも力を入れたと考えています。

山口和紀所長によれば、お勧めしたい事業は「輸出有望案件発掘支援事業」(http://www.jetro.go.jp/export/)です。製品に優位性があり、経営者にやる気があれば、情報収集、連絡文書の翻訳、商談への同行まで無料で手取り足取り契約に至るまで専門家がサポートします。対象製品には医療機器、福祉用具、UD製品などが含まれます。

海外とのビジネスの疑問がありましたら、まずジェトロにご相談下さい。解決の糸口を提供できます。



山口和紀所長

（独）日本貿易振興機構（ジェトロ）  
三重貿易情報センター

所在地:〒514-0004 三重県津市栄町1-954  
三重県栄町庁舎2階  
TEL:059-228-2647 FAX:059-228-3185  
http://www.jetro.go.jp/mie/

三重県知的所有権センター

特許権や商標権などの知的財産は企業活動においてますます重要になっています。自社の技術に新規性があるか知りたいとき、知的財産の活用で困ったとき、相談に乗ってもらえるのが三重県知的所有権センターです。みえメディカルバレー知的財産活用促進事業の協力機関でもあります。

知的財産に関する総合的なアドバイスを提供

三重県知的所有権センターは、平成8年に特許庁の認定を受け、三重県科学技術振興センター工業研究部の中に設置されました。特許流通アドバイザー、特許

情報アドバイザーなど6名のスタッフが、特許情報の提供・相談、技術移転の業務を行っています。

現在、知的財産の活用・検索に関する講習会（年40回）、特許有効活用講演会（年2回）、弁理士による無料相談会（月1回）、アドバイザーによる出前特許相談（年間300回）などを行っています。また、知らない方も多いのですが、5,600万件の特許情報に専用回線でアクセスできる端末が県内で唯一設置されています。検索・出力が早いだけでなく、アドバイザーが調べ方のコツも教えます（要予約）。

申請書類の書き方のコツなど踏み込んだアドバイスも提供していますので、知的財産について知りたいときには、知的所有権センターをご活用ください。工業研究部と連携して技術相談にも対応しています。



お話を伺ったアドバイザーの二人。奥は特許流通アドバイザーの森末一成氏、手前は特許情報活用支援アドバイザーの長峰隆氏

三重県知的所有権センター

所在地:〒514-0819 三重県津市高茶屋5-5-45  
三重県科学技術振興センター工業研究部内  
TEL:059-234-4150 FAX:059-234-3982  
http://www.mie-iri.tsu.mie.jp/tizai/

【地域の動き】伊勢鳥羽志摩健康サービス推進協議会

食事制限、言葉の壁など様々なバリアのために旅行に不自由を感じる人たちがいます。そのような成人病患者、身体障害者、外国人等が安心して伊勢鳥羽志摩を旅行できる環境をつくろうと活動しているのが、伊勢鳥羽志摩健康サービス推進協議会です。

人工透析患者にも来ていただける観光地に

協議会の発足は平成16年4月。健康サービス産業で地域を活性化する取り組みを始めました。地域で運動を広めるとともに、経済産業省のサービス産業支援事業に応募、協議会の3社（のちに8社）で「伊勢鳥羽志摩交流フロントコンソーシアム」を立ち上げました。この事業では人工透析患者や成人病患者、身体障害者向けの旅行商品開発を進めています。

透析患者は多い人で2日に1回透析を受ける必要があり水分や塩分だけでなくカリウムやリンにも制限があるため、受け入れには十分な配慮が求められます。コンソーシアムでは受け入れ先の宿泊施設と病院を確保し、調理人向けに教育研修を提供し、予約サイトを準備しています。今年1月にモニターツアーを2回実施、4月からシステムを正式稼働する予定です。

現在、北勢の経済は好調ですが、南勢では人口が減少しています。伊勢鳥羽志摩のバリアが低くなり、北勢や他県の人たちがリフレッシュに来れば、いい循環が生まれます。この取り組みがうまくいき、榊原温泉や尾鷲・熊野などにも広がることを期待しています。



透析患者向け料理の研修会



三田泰久事務局長  
（株）アーリー・バード  
代表取締役

お問い合わせ 伊勢鳥羽志摩健康サービス推進協議会 事務局  
所在地:〒516-0014 三重県伊勢市楠部町250 株式会社アーリー・バード内  
TEL:0596-20-0170 FAX:0596-20-0171 E-mail:info@kensuikyo.com  
http://www.kensuikyo.com/